

究について発表した。翌10日には仙台地区の2つの現地討議と、広域中心都市、東北日本の農業の変化、日本における気候地形の3つのシンポジウムが行われた。この中日本における気候地形の部門で、本学の浅海・式両先生の次のような発表が行われた。浅海重夫：気候地形と土壌、式正英：日本の氷河地形およびその関連地形。続いて11、12両日には福島・郡山・いわき、三陸海岸、奥羽山地と横手盆地、蔵王・日鷹・置賜地方の4コースに分れて巡検が行われた。

昨年5月5～9日の5日間マレーシアのクアラルンプールで、太平洋学術会議の地理部門の Inter-Congress Meeting が行われ、渡辺・正井の両先生が出席された。また正井先生は1月10～26日まで、日本地域開発センターの依頼により、タイ・ラオス・カンボジアに出張された。

同窓会関係

1969年11月23日(日)、本学名誉教授、元地理学科主任教授飯本信之先生が勲三等旭日中綬章を授与されたので、その叙勲祝賀会が、地理学科同窓会を中心とする有志の方々によって、桜蔭会館で、午後2時より4時まで行なわれた。飯本先生は女高師時代より併せて本学に36カ年在職され、女子教育にあたられたこと等の功績により今回の叙勲となったもの。参加者は、福井英一郎、籠瀬良明、山鹿誠次、大和田順子及び本学地理学教室の渡辺光、松井勇、浅井辰郎、浅海重夫、正井泰夫、貝山久子の諸先生を初めとし、女高師時代に飯本先生の教えを受けられた方々では附属高校長関根慶子先生、森本元子先生、附属中学校の酒井綾子先生、和田とく子さん等であり、地理学科の同窓生では第10回以前の会員24名であった。記念として参加者全員のサイン入り色紙と紅・白二つの鉢植の花が贈られ記念撮影も行なわれた。大変お健やかな飯本先生を囲み、短時間ではあったが、和気藹々のうちに閉会となった。

祝賀会に先だち、第9回地理学科同窓会は12時30分より2時まで同会場で行なわれた。会は先生方の講話、会員の自己紹介の他、今回は特に浅海重夫先生による小笠原諸島のスライド映写会が行われ好評だった。浅海先生は近年二回にわたり、東京都による小笠原諸島の自然公園建設の為の調査に参加された。

渡辺光教授退官記念会について

渡辺先生は、本年3月31日をもってお茶の水女子大学を停年退職されるが、先生の地理学はじめ各界における長年の御貢献に報いる為に、記念事業を計画し、第1回の実行委員会が1968年8月に開かれた。

会の運営は次のような構成で実務を分担している。

委員長 松井勇
副委員長 岡山俊雄 浅井辰郎
幹事 式正英
編集 故渡辺操[※] 矢沢大二 中野尊正 浅海重夫 高崎正義
庶務 貝山久子 岡崎セツ子 馬場由美子
会計 正井泰夫 林原陽子

その他の実行委員の方々は以下の通りである。

新井浩 岩塚守公 上野福男 金沢敬 木内信蔵 小谷昌 佐藤久
瀬戸玲子 武久義彦 筒浦明 土井喜久一 西村蹊二 服部信彦 平田茂子
尾留川正平 福井英一郎 別技篤彦 三井嘉都夫 森本久弥 山口恵一郎 大和英成
山本荘毅 吉田栄夫 (50音順)[※]1970年2月20日急逝された

記念事業としては、記念出版物の刊行〔現代の地理学 — その課題と展望 — の刊行及びお茶の水女子大学人文科学紀要掲載の渡辺先生論文の増刷〕、記念品の贈呈、記念祝賀会の開催(1970年4月25日、於天風会館)などを計画しており、現在準備を進めている。1969年秋より記念事業の賛同者を募り、2月20日現在で発起人を含めて約510名の方々の御賛同を得た。

1970年2月14日(土)の午後、渡辺先生の最終講義が一般教育棟201号室で行われた。先生は、“最近の国際地理学会議の動向とエクスカージョン”と題されて、1871年の第1回国際地理学会議から、太平洋学術会議を含めて、明年の第12回会議に至るまで、国際会議との関係を中心に約1時間半にわたり話された。その後約150枚の外国旅行の折のスライドも上映され、学内外の関係者80名余が拝聴した。